

競技・運営上の確認事項

- 1 競技は2025年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
 - （1） 使用球：（公財）日本バレーボール協会検定4号球
 - （2） 本大会は、男子：モルテン（V4M5000） 女子：ミカサ（V400W）を使用する。
 - （3） ネットの高さ：男子 2m30cm 女子 2m15cm
- 2 競技はプログラムに記載されている組み合わせ表にしたがって、トーナメント方式による3セットマッチで行う。
3位決定戦は行わず、準決勝で敗れた2チームを3位とする。
- 3 エントリー変更届は、全チーム受付時に所定の文書を受付担当者に提出すること。変更がない場合は、変更なしに丸をつけて提出する。コーチ確認書を提出した方が変更になる場合には、新たにコーチ確認書も添えること。
- 4 ベンチの構成員について
 - （1） ベンチおよびフロアには、有効に登録された監督、コーチ、マネージャー、選手、およびクイックモッパーのみ入ることができる。
 - （2） ベンチ内の持ち込み物については【（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部における「ベンチ内持ち込み物」の取り扱いについて】を確認すること。また、ベンチスタッフのマナーについても十分留意すること。
- 5 服装については以下の通りとする。
 - （1） ユニフォームやベンチスタッフの服装については【（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部から示されている「全国大会参加チームのユニフォーム規定」】を確認すること。
 - （2） 監督、コーチ、マネージャーは、規定のマークを左胸部につけること。
 - （3） マネージャー、クイックモッパーはハーフパンツまたは長ズボンを着用すること。
- 6 競技フロアへの入場について
 - （1） 競技フロアへの入場はID着用者のみ認める。
 - （2） 選手、スタッフの競技フロアへの入場は、コート係の指示にしたがうこと。
 - （3） 競技フロアに入れるのは試合をしているチームと次の試合のチームのみとする。ただし、次の試合のチームは前の試合の2セット目の給水のためのタイムアウトが終了するまでは入れないこととする。
 - （4） 決勝戦に進出するチームは、11時以降に競技フロアへ入場することができる。
 - （5） ボールの使用は、競技統制区域内のみ認める。
- 7 競技開始時刻について
 - （1） プログラムに記載されている時刻は競技開始時刻とする。プロトコールは、試合開始時刻の11分前に行う。開始時刻が設定されている場合は、前の試合が早く終了した場合でも、競技開始時刻を早めることはしない。
 - （2） 試合間は5分間の合同練習を行い、プロトコールに入る。
 - （3） 試合間の5分間の合同練習時のボール使用についてはパスのみとし、他コートの試合に影響を及ぼさないよう十分に配慮すること。
 - （4） 前の試合が長引いて、次の試合の競技開始時刻が過ぎた場合には、速やかに次の試合の準備を行い、5分間の合同練習後、プロトコールを開始する。プロトコールの開始時刻は、競技役員が両チームの監督に伝える。
 - （5） 3日目の合同練習では、ボールを使用する練習に制限を設けない。ただし、他コートの練習に影響を及ぼさないよう十分に配慮すること。
 - （6） 空いているコートを使用する練習は認めない。
- 8 表彰については、準決勝、決勝終了後に、コート上で直ちに行う。その際、両チームのエントリー選手全員がエンドラインに整列する。

審判上の確認事項

- 1 本大会は「2025年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則」並びに「2025年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部における6人制ルールの取り扱いについて」による。リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。また、監督・選手ともに競技規則に精通し、忠実であること。
- 2 サービングチームはサーブ時、フォーメーション通りに位置することはかまわない。ただしサーバーを隠す位置にいたりや頭上に手を挙げたりしないこと。また、セット開始時にはスターティングラインアップの位置に並び、確認を受けてから移動すること。
- 3 監督は試合中、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ち歩きながら指示を出してもよいものとする。動ける範囲は、アタックラインの延長線上より後方とし、ラインジャッジの視界を妨げないものとする。
- 4 選手交代は、クイックサブステイションで行う。ただし、パドルを使用し、ブザーは使用しない。
 - ①選手はコート内の選手のナンバーパドルを持ってエリアに入場し、高く掲げて交代を要求する。
 - ②パドルの不所持や間違い、自分のナンバーを所持してのエリアへの入場は、拒否や遅延の対象となる。
 - ③2組以上の選手交代は、同時にエリアに入場する。時間差のある入場は、拒否や遅延の対象となる。
- 5 各セット、リードするチームが13点になったとき、給水のためのタイムアウトが適用される。
- 6 ワンボールシステムで試合を行うため、円滑な試合運営ができるようにする。
 - ①ボールデットになったならば、サーバーはサーブエリアに移動する。
 - ②ボールデットになったならば、速やかにボールをサーバーに渡す。
 - ③コート外にボールが出た場合は、一人でボールを拾いに行く。
(この場合、アップエリアにいる選手が拾いに行ってもかまわない。)
- 7 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしない。
(判定に対するアピールや相手チームに向かってのガッツポーズなど)
 - ①ゲームキャプテンは質問する権利を有するが、抗議することはできない。また、他の競技参加者は質問する権利を有してはいない。
 - ②ステージ1やステージ2の制裁対象となる。
- 8 試合中のワイピングは、原則としてコート内の選手が速やかに行うものとするが、各チームで2名までクイックモップをおくことを認める。
 - ①控え選手がワイピングを行う場合は、ベンチから直接ワイピングをし、ベンチに戻る。
 - ②登録選手以外の生徒がクイックモップを務める場合は、ユニフォームと異なる服装でベンチの脇に待機する。ただし、モップとしての役割以外のことは行わないこと。
 - ③その他のモップの使用については、審判員が判断する。
- 9 ウォームアップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 10 セット間は、フリーゾーンでのボールの使用を認めるが、パスのみとし、競技統制区域内であること。
- 11 タイムアウトは、ハンドシグナルを明確に表示して要求する。
- 12 試合前後は、選手全員がエンドラインに整列し、挨拶をする。